

病害虫防除技術情報第4号

平成19年 7月19日

三重県病害虫防除所

そろそろクワシロカイガラムシが孵化します

1 対象作物: **チャ**

2 対象病害虫: **クワシロカイガラムシ(第2世代)**

3 発生時期: **7月下旬(第2世代幼虫孵化期)**

(1)7月16日までの気象データを使ってシミュレーションしてみると、孵化最盛期は7月下旬(四日市 7/25、亀山 7/26、粥見 7/24)となります。

(2)これらのことから、孵化最盛期は7月25日前後に迎えることが予想されるため、薬剤防除の適期と判断されます。

4 発生状況

(1)7月中旬の巡回調査における雌成虫の平均寄生株率は24.3%(平年14.4%)で、平年と比較して多い状況でした。

(2)科学技術振興センター茶業研究室の観察では、7月17日時点での産卵雌率は79.3%、孵化卵塊率2.2%です。

5 防除対策

(1)幼虫孵化最盛期が防除適期になります。幼虫は定着するとロウ物質で体を覆うため、日数の経過とともに薬剤は虫体に到達しにくくなります。したがって、防除適期幅は約1週間と短いため、時期を失ないように防除を行ってください。

(2)5月の第1世代の防除適期に摘採等で防除できなかった園や、二番茶後の刈り落とし時に寄生が確認されている園では防除を徹底してください。

(3)地域により、孵化時期は異なります。また、第1世代より孵化時期がばらつくので、自園の孵化状況をしっかりと確認してください。

(4)薬液が枝に充分かかるよう丁寧に散布してください。

(5)防除薬剤は登録のあるものを用いてください。調合の際には再度ラベルの内容を確認してください。

(6)この時期の農薬の使用回数は、二番茶摘採後の刈り落としから秋番茶までの期間でカウントします。使用回数が1回の農薬を使用した場合は、その農薬は秋番茶摘採までの間使用できませんので注意してください。